

学んで・知って・得する エコライフ!

私たち、かごしま市民のひろば編集サポーターが、日頃から気になる、学んでみたい・知りたい環境活動などを取材しました!



いよいよ始まる! 鹿児島市のコミュニティサイクル!

～来年3月運用開始 愛称は“かごりん”に決定～

コミュニティサイクルは、ヨーロッパの主要都市では、住民や観光客の移動手段として普及しています。最近では、国内の主な都市でも普及し始めており、いよいよ来年3月から本市でも、自転車台数174台(サイクルポート20カ所)で運用を開始します。サイクルポートでいつでもどこでも自転車の貸し出し、返却ができます。詳しい内容はかごりんホームページ(<http://kagorin.net/>)か環境政策課216-1296(FAX216-1292)でご確認ください。



サイクルポート(イメージ)

学んで知って得する②

- ・自家用車での移動から、“かごりん”と公共交通機関を併用することで、まちの自動車交通量が減り、渋滞の緩和や温室効果ガスの削減にもつながります。環境面でも“地球にやさしい”取り組みです
- ・“かごりん”は、1日会員であれば基本料金の200円で、30分以内の利用が1日何回でもできます!

取材しました

“かごりん”の「りん」は車輪のりん、ベルの音のりん、そして自転車によって人やまちがリンクするという意味を込めています。簡単便利な“かごりん”をぜひご利用ください!

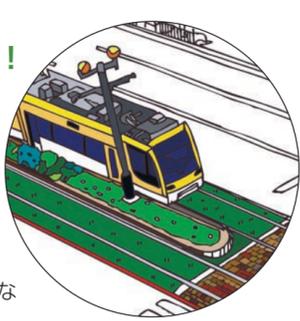


環境政策課 西園 正文さん

環境にやさしい 市電・市バス

◇緑が映える“軌道敷緑化”でヒートアイランド現象も緩和!

鹿児島中央駅の駅前広場へ引き込んだ軌道敷に高麗芝(ビクトール)を植えたのが「市電軌道敷緑化」の始まりで、平成24年11月、道路との併用軌道区間全線の約8.9kmの軌道敷緑化が完成しました。ヒートアイランド現象や沿線の騒音緩和をはじめ、都市景観の向上などにもつながっています。



◇環境にやさしい低公害バス!

現在、市営バスは、合計204台が運行中。この中の約38%にあたる78台が、“人にも地球にもやさしい”低公害バスです。ディーゼルエンジンとモーターの両方を使った「ハイブリッドバス」、天然ガスを使って、黒煙を出さない「CNGバス」などもあります。車体にコアラと緑をあしらった、かわいいロゴが目印です。



学んで知って得する③

◇市電・市バスの「通勤定期券(利用日限定を除く)」、「全線定期券」などがお得!

休日などにこれらの定期券を利用すると、定期券所有の人とその同伴のご家族の運賃が割引かれます。休日などに定期券に表示されている区間を利用すると、定期券所有の人は無料、同伴のご家族は大人100円、小児50円で利用できます。また所有者本人が休日などに表示区間外で乗車したときの運賃は100円となります。詳しくは交通局総合企画課257-2102へ。

取材しました



取材などを終えて・・・学んだこと・感じたこと!

取材前は、単に“リサイクルは、廃棄物を資源として再利用する”という考えでした。市電の整備士さんなどにお話を伺い、“今あるものを、いかに大事に、長く使うか”ということをあらためて学びました。(富吉)

平成20年の「かごしま環境都市宣言」から、人と地球にやさしい環境都市として、持続可能なまちづくりをしている鹿児島市の市民として、コミュニティサイクルの運用のような取り組みは誇りに思います。多くの市民の皆さんや観光客に普及してほしいですね。(木佐貴)

私は、戦後の高度経済成長時代を生き、さまざまな環境問題を見聞きしてきました。この取材を通じて、あらためて、環境や文化を、親から子、そして孫へ伝えることの大切さを再認識しました。(西村)

リユース・リサイクルショップの取材を通じて、使われずに眠っている食器類などを、自分好みの必要な品物に交換できる、ユニークな場所だと感じました。市民の皆さんもこのショップで、楽しみながら、お得なエコライフを体験しませんか。(長濱)

以前から興味があったダンボールコンポストを取材しました。微生物が枯葉を分解するように、自然界をダンボールの中で再現できることに感動しました。今後、講習会などでダンボールコンポストに取り組みたいと思います。(海老原)

学んで知って得する①

かごしま環境未来館でエコ活動!

(1)ダンボールコンポスト

取材しました

◇ダンボールコンポストとは

ダンボール箱を使い、微生物の力を借りて、家庭から出る生ごみを堆肥に変える生ごみ処理容器の一つです。基材は、ピートモスやもみ殻燻炭などを使います。

◇NPO法人かごしま市民環境会議代表 村山雅子さんのお話

いつでも誰でも手軽にできること、生ごみが3～4カ月すると堆肥になることが特徴です。毎日出る生ごみをすぐ処理できることで、台所が生ごみ臭くならないですし、ごみ出しが軽くなるので、楽になります。簡単に、楽しく取り組みますよ。

1カ月で約10kgの生ごみが堆肥に変わります。その堆肥で野菜などを育てたりする人もいます。生ごみを堆肥に変え、有効活用するダンボールコンポストを活用してみたいかがでしょう。



村山 雅子さん



(2)リユース・リサイクルショップ

取材しました

◇リユース・リサイクルショップとは

家庭で使われずに眠っていた品物などが、必要としている人に循環していく場所です。



- ①未使用の日用品などをショップに持参
- ②提供した品物に応じて、ポイントが付与される
- ③貯めたポイントで、好きな品物と交換



食器、鍋類、タオル・ハンカチ類など、主に日用品が中心です。意外な掘り出し物が見つかることもあるので、こまめにチェックしてみてください!



おむつ類やタオル類が人気です



バラエティ豊かな品物が並ぶ



インタビューしました

Q1 かごしま環境未来館は開館6周年。市民の皆さんに“親しまれている”と感じるときは? →市内の学校や企業の出前講座に何回か行ったときに、「何回も行ったことがある」、「いろいろな講座があり、受講したことがあるよ」などの声をいただいたときですね。大変うれしく思います。もっともっと多くの人に知ってもらいたいと思っています。また、このかごしま環境未来館では、さまざまな環境に関する情報を発信しています。学びたい・取り組みたい人をサポートする拠点でもありますので、ぜひ来館いただきたいと思います!

Q2 市民の皆さんにおすすめの“エコ活動”は? →一家庭の時間を設けることです。短時間、たとえば食事の前後でもよいですが、使わない部屋の電気を消し、1つの部屋に家族が集まることで、省エネにつながります。家族の話も増え、良いコミュニケーションがとれると思います。



かごしま環境未来財団 事業課長 塩川 哲郎さん 【かごしま環境未来館 806-6666】